＜H6-1-A：問題＞

次の文は、多角測量方式による基準点測量の選点及び測量標の設置について述べたものである。間違っているものはどれか。

１．新点位置の選定に当たっては、視通、後続作業における利用等を考慮する。
２．既知点の現況調査において、柱石上面の水平を確認する。
３．路線の辺数は、なるべく多くする。
４．新点の位置を選定したときは、その位置等を地形図上に記入し、選点図を作成する。
５．永久標識は、地盤堅固で保存に適した場所に設置する。

© Matsubara P.O

＜H6-1-B：問題＞

光波測距儀による距離測定において、下記のＡ～Ｆに示した誤差が測定距離に与える影響について、距離に比例するものと距離に比例しないものに分けたとき、正しい組合せはどれか。次の中から選べ。

Ａ．気圧測定誤差
Ｂ．位相測定誤差
Ｃ．器械定数誤差
Ｄ．反射鏡致心誤差
Ｅ．変調周波数の誤差（基準周波数からのずれ）
Ｆ．気温測定誤差

解答	距離に比例する			距離に比例しない		
1	A	E	F	B	C	D
2	A	B	E	C	D	F
3	A	B	F	C	D	E
4	A	D	E	B	C	F
5	B	C	E	A	D	F

© Matsubara P.O

＜H6-1-C：問題＞

トランシットを用いて、ある水平角を No.1～4 の 4 回に分けて観測し、表１－１の結果を得た。これから求められる水平角の最確値はいくらか、次の中から選べ。

１．98°26′51″

２．98°26′53″

３．98°26′54″

４．98°26′56″

５．98°26′59″

表 1－1

No.	観　測　値	重　量
1	98°26′54″	3
2	98°26′50″	2
3	98°26′44″	1
4	98°26′56″	4

© Matsubara P.O

＜H6-1-D：問題＞

次の文は、トータルステーション及びデータコレクタを用いる測量について述べたものである。間違っているものはどれか。

１．１視準で、水平角、高低角及び距離測定を同時に行うことができる。
２．観測値は、データコレクタに自動記録されるので、誤記のおそれがない。
３．器械高、反射鏡高は、確認して手入力する。
４．データコレクタ等の電子情報機器は、湿気や衝撃に弱いので、その取り扱いには十分注意する。
５．トータルステーションの点検、調整は省略することができる。

© Matsubara P.O